

公益財団法人SGH財団

2026 年度

私費外国人留学生特定奨学生募集要項

(大学院博士後期課程)

2026 年度特定奨学生募集について、博士学位取得を目指す日本の大学の大学院博士課程に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「特定奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

特定奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注1）の国籍を有する私費外国人留学生（注2）で、2026年4月1日現在（注3）において、下記の要件をそなえる者とする。

- (1) 博士後期課程2年次、4年制博士課程（医・歯・獣医・薬学部）3年次又は一貫制博士課程4年次に進学する35歳未満の者。
- (2) 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- (3) 他の奨学金を受給していない者。
- (4) 奨学金の給付期間中において、当財団が主催するオリエンテーション・交流会・採用証書授与式に出席できる者。
オリエンテーション：2026年7月3日（金）開催予定
交流会：2026年10月17日（土）～18日（日）開催予定
採用証書授与式：2026年10月19日（月）開催予定
- (5) 特定奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者。

注1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。
フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア・東ティモール

注2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2. 特定奨学生採用予定人員

2名程度

3. 奨学金

特定奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 180,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2026 年 4 月から 2028 年 3 月まで)

5. 応募の手続き

- (1) 特定奨学生に応募する留学生は、大学院博士後期課程の申請書等〈別紙様式 3-1、3-2〉に自筆、日本語で、所定の用紙内に収まるように記入の上、下記の書類を添えて、在学する大学が指定する日までに提出しなければならない。
なお、様式 3-2-③、3-2-④については、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロードの上、テキスト入力で提出すること。

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 3-3〉
(本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可)
- イ. 在留カードのコピー(表裏)〈別紙様式 3-5〉
- ウ. 学業成績証明書(修士修了時の成績証明書を提出)
- エ. GPA 証明書(学業成績証明書に記載されている場合は省略可)
- オ. 在学証明書

- (2) 大学は、前記(1)の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 3-4〉を添え、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> の S G H 特定奨学生申請フォームより推薦する。

6. 応募締切日

2026 年 4 月 17 日(金)

7. 選考及び決定

5により大学から推薦があった者(2名以内)について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。
その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。なお、選考過程によっては、面接(Web含む)を実施する場合がある。

(2026 年 5 月下旬頃を予定)

8. 奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、特定奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 特定奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 特定奨学生の学業又は性行等の状況により、特定奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9. 奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10. 奨学金の打ち切り

特定奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切ることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断される時。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により特定奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団特定奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断される時。

11. 転退学

特定奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12. 返納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13. 報告書の提出

本財団が、特定奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。また、学位を取得した時点で、学位授与証明書（コピーも可）を提出すること。

14. 届出の義務

特定奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届け出なければならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、保証人及び家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15. 注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

公益財団法人SGH財団

2026年度 私費外国人留学生特定奨学生申請書

(大学院博士後期課程)

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

1. 氏 名 (カタカナ) _____

(パスポート記載の英語表記) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 _____ 歳 _____ ヲ月)
(年齢は、2026年4月1日現在で記入のこと)

4. 現 住 所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年次 _____
(2026年 _____ 月 _____ 日現在) 理系 文系

入学年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 入学

所在地 〒 (_____) 電話番号 (_____) _____

6. 学 歴

教育機関の種類	学校名および所在地	修学年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位または資格等
高等学校から	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

7. 日本語の学習歴 日本への入国年月： _____ 年 _____ 月

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習期間 _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで (_____ 年 _____ ヲ月間)

(3) 日本語能力 _____ 上級・中級・初級(※) 日本語能力試験：N (_____) 合格

(※) 該当すると思うレベルに○印を付すこと。

8. 職 歴 (アルバイト含む)

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

9. 家庭状況

氏名	続柄	年齢	職業	年収額	住所
	父			万円	
	母			万円	

・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。
 無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況（2025年月額平均を記入）

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
 なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額のコレは、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円 ※①から④の合計を記入

- ①仕送り額 月額 _____ 円
 (仕送り者との続柄および職業) 続柄 _____ 職業 _____ (仕送り者の年収額) _____ 円
- ②アルバイトの収入額 月額 _____ 円 職種 _____
- ③アルバイト以外の収入額 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ④奨学金 月額 _____ 円 名称 _____
 受給期間 _____ 年 月 ~ _____ 年 月 (終了20 _____ 年 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円 (生活費を計上のこと) ※①から④の合計を記入

- ①住居費 月額 _____ 円
 自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ②授業料その他大学所定の納付金等 月額 _____ 円
- ③食費 月額 _____ 円
- ④その他の支出額 月額 _____ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)
 内訳項目 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2026年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2025年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2026年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2026 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

主な研究成果

① 学会報告等

※ 発表形式は口頭、ポスターなど(オンラインも含む)。

※ 著者名は全員の氏名を記載し、発表者に下線を引く。

発表年月日	発表形式	報告等の題目(著者名)	発表学会名等
(例)2025.3.10	口頭	○○に関する研究(氏名1,氏名2,氏名3) <div data-bbox="549 562 1123 824" style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"><p>本様式は、本財団ホームページ https://www.sgh-foundation.or.jp からダウンロードの上、テキスト 入力にてご提出願います。</p></div>	第50回○○学会大会

② 公表論文等

※ DOIはオンラインジャーナルでは必須。それ以外では任意。

※ 著者名は全員の氏名を記載し、発表者に下線を引く。

著者名、論文等の題目、学会誌名、巻(号)、頁、出版年、DOI

(例) 氏名1, 氏名2, 氏名3, ○○に関する研究, ○○学会誌 50(1), 123-130, 2020, 10.1234/ja567890x

本様式は、本財団ホームページ
<https://www.sgh-foundation.or.jp>
からダウンロードの上、テキスト
入力にてご提出願います。

2026 年度

推薦理由書

(大学院博士後期課程)

公益財団法人SGH財団
理事長 栗和田 榮一 殿

カタカナ			国籍		
氏名 (英語表記)			生年月日	年	月 日生
大学名	大学大学院		入学年月	年	月 入学
研究科	研究科	専攻	専攻	年次	年次 (2026年度)

推薦理由 (他の学校から編入された留学生の場合、その学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい)
①出願者の学力、②独創性、③将来性について具体的にご記入ください

推薦者 (指導教員等)

2026 年 月 日

所属機関		
職 名		
氏 名		印

2026 年度

学位取得の可能性について

(大 学 院 博 士 後 期 課 程)

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

(年 月 から 約 年 ヲ月)

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

- a. 自分の意見を進んで発表する (A B C)
- b. 指示がなくても自主的に課題を進める (A B C)
- c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる (A B C)

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい 必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価 非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい 非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者 (指導教員等)

2026 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名

㊟

2026 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏